

琴平自動車株式会社



私たちは返品を笑顔でお受けします。

《経営理念》

カーメンテナンスサポート業を通して安心と信頼の輪を広げる



NO. 224 令和 4 年 3 月号

<http://kotohira-motors.com>



当社はこんなご要望にも
お応えしております!



トレーラーの台車のエア配管に亀裂が入り、エア漏れの故障!

トレーラーメーカーに問い合わせする

も・・・生産終了により入手不可能。。。

そこで!! 高圧ホースで製作(当社で製作)をおこない、無事に走行できる状態になった事例です。



《亀裂が入ったエア配管》



《当社作成の高圧ホース》



ETCが使えなくなる? 2022年問題と2030年問題とは?

ETCが2022年に使えなくなる・2030年には使えなくなるなど、ETCの2022年問題および2030年問題について、見聞きしたことがある人は少なくないでしょう。2022年問題は少数の方しか影響ありませんが、2030年問題は多くの方が対象になっています。

では・・・2022年問題・2030年問題とはそれぞれどんなものなのか? ?

ETCの2022年問題は法改正によるもの

ETCの2022年問題とは「一部のETC車載器が2022年12月1日以降は使用できない」というものです。その理由は、電波法の一部改正の影響です。現行の電波法の規格は2005年12月から適応され、2年の経過措置期間を経て2007年12月に全面適応されたものです。旧規格で認証を受けた無線設備も2022年11月末までは延長使用できる猶予期限が設けられていましたが、いよいよその猶予期限が迫ってきたのです。ETC車載器も無線設備のひとつなので、旧規格のETC車載器は、この延長利用期限の影響を受けるということです。

2022年問題・使えなくなるETC車載器はごく一部

2022年12月1日からは旧規格のETC車載器が使用できなくなります。

電波法の一部改正の適応開始からもう十数年経過しており、それ以前のETC車載器を今も使っているというケースは少ないため、現在使われている数多くのETC車載器のなかでも2022年問題の影響を受けてしまう機種はごく一部に限られています。



ETCの2030年問題はセキュリティ規格変更によるもの

2030年問題はETCシステムのセキュリティ規格の影響によるものです。

現状では旧セキュリティ規格のETCも使えます。しかし、遅くとも2030年には新セキュリティ規格しか使えないように変更しますというのが2030年問題です。

もしETCに重大なセキュリティ問題が発生した場合は、旧セキュリティ規格のETC車載器が使えなくなる日が2030年よりも前になってしまう可能性もあります。旧規格でも2030年まで問題なく使える、と安易に考えるのは禁物です。

2030年問題で影響を受けるETCの見分け方



琴平自動車株式会社

